

もり ゆ う ど

NPO法人設立記念号(2002年春)

NPO法人 森林ボランティアクラブ
ウッディ阿賀の会

Vol. 5

発行日 2002年3月25日



森林ボランティア活動の舞台・滝谷近くの集落から見た、二王子の山並み

NPO法人で新発足

わが「ウッディ阿賀の会」は2002年2月1日、県の認証をえてNPO（特定非営利活動）法人に衣替えして新しいスタートをきりました。

昨年春いらい幹事会中心に、活動計画の見直し・定款(会則)づくり等の準備をすすめ、幹事会（7月）・臨時総会（8月）の同意を経て同10月21日設立総会を開き、設立の趣旨説明・定款・事業計画及び収支予算・設立代表者の選任などを審議、出席者全員の賛同でNPO法人化を承認しました。同11月県に申請書を提出、年改まった早々の1月に認証されました。

当会はボランティア団体といっても、これまではいわば「個人の資格」でした。NPO法人は「組織」であることが大前提。会則・代表者・事務局・会計の独立一などが適格の要件です。NPO法人として当会は助成金・補助金を受け入れやすくなり、したがって組織的・継続的なボランティア活動が行えるわけです。

一方、ルールに則した運営はもちろん、監督機関への届け出・納税や正しい会計・情報の公開一などの社会的責任を伴うのはいうまでもありません。

荒川 森林整備班

荒川地区での森林整備は2年目を経過しました。かえりみますと、1年目の除伐・植林・草刈に始まり、2年目は行く手を阻むジンダケ（根曲竹）に悪戦苦闘しました。人数は少なくてもチームワークはばっちり、悪条件の個所も何とかしのぎきりました。

荒川地区の人たちとの交流も、たいせつなことです。地元と融和しながらひとつずつ山の整備の実績をあげたいものです。



クマも転がる急斜面！

下から見上げても二の足を踏むところで、ボランティアならではのできない仕事



除伐・間伐は楽しい作業です

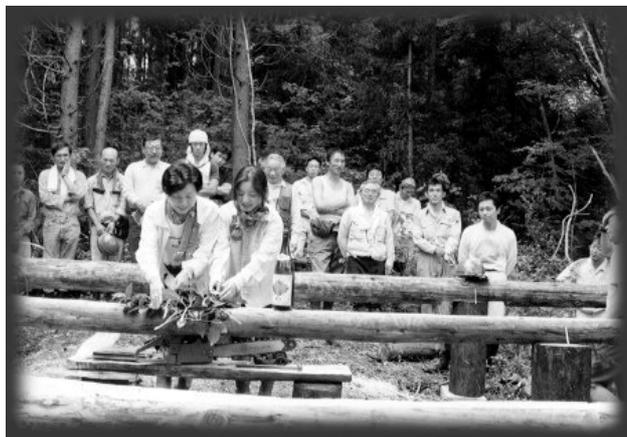


この写真では分からないが、息を呑むような急斜面です

青少年ボランティア

荒川地区での草刈り。
子供たち20人が参加して一番の楽しみはやはり昼食・・・





今は懐かしいログハウスの地鎮祭のようす



遊びとはいえ本気です！
上棟式は盛大に

三川 ログ班

三川村のログハウス造りから始まった会の活動も、多彩なメンバーの活躍で大きく広がりました。

ログハウスは待望の屋根もかかり、4年目の今年こそ完成できそうです。



2001年秋、念願の屋根がかかって
冬ごもり万全のログハウス

秋の野宿会

奥阿賀の山での野宿会
数人の張切り屋が・・・



焚火を燃やすにも年数が要ります



いささか眠そうな顔ばかりですが、野宿翌朝の記念写真です

去年、ユニゾンプラザ内でのイベントで、お客さんの1人がこんな事を言っていた。「自然保護が大切なのは良く分かってる。でも義務感や使命感だけでは続かない」と。

この会では希少な存在である女性の私。だが現実には厳しい。ヒルに血を吸われるは、スズメバチに刺されるはでさんざん。それでも私はまた「ここ」に来てしまう。なぜだろう？。



初めて持たされたチェーンソーはすごく重かったけど、エンジンの音と振動に嬉しくなり、下刈り機で突き進むことも楽しい。恒例になった野宿の会も、たき火の炎が気持ち良い。

一番楽しいのは、「ここ」に集まる変わり者達の「和」だ。義務感や使命感じゃなく、楽しいからやっている。その感覚がたまらない。いろんな事にチャレンジできる環境もまたそう。

春は目前、4年目の活動が始まる。さて、今年は何に挑戦しようかな？

入会案内

山に入ってみたくて思っている方、都合の良い日にあわせて、ぜひ遊びに来てください。めぐり行く季節の中で気持ちの良い汗を流してみませんか？

- 設立年 : 平成10年10月21日
- 法人設立 : 平成14年 2月 1日
- 会員数 : 個人38人(平成13年現在)
- 活動日 : 毎月第2、4の土曜、日曜
- 年会費 : 5,000円
- 準会員 : 2,000円(学生・子供)
- 賛助会員 : 一口5,000円(2口以上)

入会申込書		年	月
氏名			男・女
住所			
生年月日			
電話			
FAX			
E-mail			
得意技			
職業			

NPO法人 ウッディ阿賀の会



NPO 法人
森林ボランティアクラブ
ウッディ阿賀の会

事務局
950-0994
TEL(025)243-2870
FAX(025)243-2846

株式会社 アーバンプランニング内 江添
新潟市上所1丁目12番12号
E-mail: woodyaga@par.odn.ne.jp
URL: <http://www.geocities.co.jp/NatureLand/8492/>

代表世話人 込田 幸吉

早いもので、ウッディ阿賀の会ができてから4年目に入りました。山に入って汗を流し間伐とログハウスづくりを体験し、さらには本格的な森林の整備へと、活動の範囲も広がってきました。この間、大きな事故もなくそれぞれ、きめられた作業やイベントに取り組むことができたことを感謝しています。

会員の中にはいろいろな方がおられるのですが、里山の自然に対する共通の思いが互いを結び合う絆になっていることを痛感しました。

チェーンソーが使えないなど、思うように活動ができない方も、山をみて、山の空気を吸って、山と遊ぶだけでも、里山と親しむボランティアなのです。



今年2月から、この会はNPO法人としてその姿が新しくなり、社会的にも注目されることになりました。しかし、活動の内容ががらりと変わるわけではありません。公的なポジションを得ることで、今までやってきた活動が、よりやり易くなるのです。

仕事と違って、ボランティアでは多少の失敗や的外れな行動も楽しい活動のうちに入るのだと言われております。今年も山に入って作業に遊びに、思いっきり汗を流して、うまいビールを飲みましょう。

編集後記

「ウッディ阿賀の会」はNPO法人としてスタートいたしました。あわせて今回から組織として編集委員会がスタートしました。

会報のネーミング「もりゅうど」は森(守)人の意味をこめました。可愛がってください。

年に3回の発行をめざしております。会員の皆様のご意見や感想など原稿をお待ちしております。

この会報が会員間のよいコミュニケーションの場所となるよう願っております。イラストは後藤さんのペンです。

編集委員は遠藤・香田・吉岡・山内・後藤・桑原です。(香)